



脳卒中後の摂食嚥下障害に関する要因を検討するためのレジストリ研究

2022年6月1日から2028年5月31日までに脳卒中を発症し日本医科大学付属病院 Stroke Unit（脳卒中ユニット）に入室した脳卒中集中治療科の患者さんのうち、リハビリテーション科の評価・治療を受けられた患者さん

研究協力をお願い

当科では「脳卒中後の摂食嚥下障害に関する要因を検討するためのレジストリ研究」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2022年6月1日より2028年5月31日までに日本医科大学付属病院脳卒中集中治療科にて、脳卒中を発症し Stroke Unit（脳卒中ユニット）に入室され、かつリハビリテーション科の評価・治療を受けた患者さんの効果的なリハビリテーションを調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：脳卒中後の摂食嚥下障害に関する要因を検討するためのレジストリ研究

研究期間：研究実施許可日～2029年3月31日

研究責任者：日本医科大学付属病院 リハビリテーション科 大学院教授 青柳 陽一郎

(2) 研究の意義、目的について

急性発症した脳卒中患者さんに対し、運動麻痺、日常生活動作障害、フレイル（身体虚弱）・サルコペニア（筋肉減少症）、摂食嚥下機能（飲み込みの機能）に関するデータを使用し、脳卒中後の嚥下障害の発症に関わる要因や発症後1～2ヶ月程度について検証します。そして、今後の脳卒中リハビリテーションの発展に向けた一助とすることを目的といたします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2022年6月1日より2028年5月31日までに脳卒中を発症し、日本医科大学付属病院 Stroke Unit（脳卒中ユニット）に入室した脳卒中集中治療科の患者さんのうち、リハビリテーション科の評価・治療を受けられた患者さんの身体機能・嚥下機能などを評価し、短期予後との関連について検討を行います。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：患者情報、治療内容、リハビリテーション評価・治療内容 等

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。

その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 リハビリテーション科 言語聴覚士 大橋 美穂

〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：6520

メールアドレス：m-ohashi@nms.ac.jp